

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター 第168号 2018年5月15日 だより



開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023

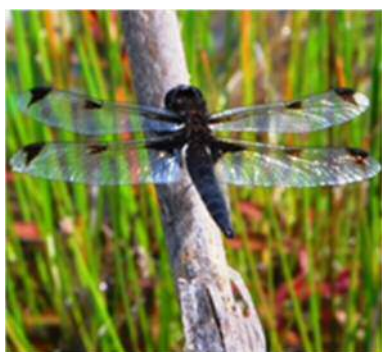


《ベッコウトンボ調査会》4/29(日)・5/3(木)実施

毎年恒例のベッコウトンボ調査会。4月29日(日)は晴天に恵まれ、一方、5月3日(木)は前日の強い風雨により開催できるか心配されましたが、朝から少しずつ天気が回復し無事に調査会を開催することができました。両日とも100名を超える参加者が集まり、トンボの見分け方や調査方法について説明を受けたあと、引率者(野路会)とともに6グループに分かれて、1時間半ほど熱心にベッコウトンボを数えて歩きました。

調査会では両日のうち多かった頭数を採用することとしているため、今年は4月29日の91頭となりました。昨年の調査会での171頭よりも少ない確認数となり「ベッコウトンボが減ってしまったの？」と心配の声もあがりましたが、「今年は4月になって暖かな日が続いたので羽化のペースが早まり、調査会の前にトンボの個体数がピークを迎えてしまったかもしれない。また1～3月の天候不順も影響しているのではないか。」とのことでした。そして NPO 法人岩井里山の会の加藤会長から「今年の春も沼北側の生簀(岩井里山の会設置・管理)での産卵は順調ですよ。」とお話がありました。

来年はまた、より多くのベッコウトンボと出会えるよう、皆さんと一緒に桶ヶ谷沼周辺の環境を守っていききたいものですね。



成熟したベッコウトンボ♂



ベッコウトンボとよく似た
ヨツボシトンボ



ハラビロトンボ

=ベッコウトンボQ&A=

Q. ベッコウトンボは、どうやって交尾・産卵するの？

A. 成熟した♂は♀を探して見つけるとすぐに空中で交尾態となります。交尾は飛びながら数秒～十数秒間行われ、交尾中そのまま静止することもあります。♀はその後すぐに水面に産卵し、この間、♂は上空で警護することが多いです。

桶ヶ谷沼の観察路を歩くと・・・



左上の写真はヤマツツジ、真ん中はモチツツジです。花の大きさは同じくらいですが、モチツツジの方が花の色が淡く、名前のおり、若枝やガクをさわるとベタベタしています。

一番右の写真はスイカズラです。花が白色から黄色に変化するので、金銀花(きんぎんか)とも呼ばれます。スイカズラはイチモンジチョウの幼虫の食草です。



左上の写真はサトキマダラヒカゲです。羽を広げると6 cmくらいのチョウで、竹林の端にある看板にとまっていた。幼虫の食草はササ科の植物です。真ん中はヤマトシリアゲです。頭部が長く前に伸び、みはお尻をクルリと巻き上げているのが特徴です。2 cmに満たない小さな虫ですが、探してみてください。一番右の写真はコジャノメです。羽を広げると4.5 cmくらいのチョウで、地上近くを飛んでいました。

足元や木々の中を注意深く見ながら歩けば、そのほかにもきつといろいろな花や虫たちに出会えることでしょう。

自然とのふれ合いを

※参加は無料です
申し込みはビジターセンターへ

アメリカザリガニ調査会

- * 日程 6月24日(日) 9:30~11:30 (受付 9:00~)
- * 場所 ビジターセンター視聴覚コーナーと桶ヶ谷沼周辺
- * 内容 桶ヶ谷沼で大発生しているアメリカザリガニはどんな生活をしているのか? 講師のお話を聞いたあと、沼でアメリカザリガニを観察します。
- * 持ち物 帽子・水筒

魚類観察会

- * 日程 7月22日(日) 10:00~12:00 (受付 9:00~)
- * 場所 ビジターセンター視聴覚コーナーと野外
- * 内容 桶ヶ谷沼と沼から流れ出る桶ヶ谷川にすむ魚類の説明を受けたあと、野外に出て桶ヶ谷川にすむ魚類を採集・観察します。
- * 持ち物 帽子・水筒・長靴・メモ用紙など

※ いずれの行事も、対象は一般(小学生以下は保護者同伴)です。